

活動の場所

岩手県雫石町  
盛岡セイコー工業敷地内  
わくわくの森・わくわくトープ



敷地内の森（わくわくの森） ビオトープ（わくわくトープ）

活動目的

盛岡セイコー工業の敷地内の森は、周辺の森と森をつなぎ、いきものたちの生態系ネットワークをつなぎとめる重要な役割を担っています。私たちはこの森や地域の多様な環境を次世代へつなぐため、生物多様性を守る活動を実施しています。また積極的な活動の発信を行い、活動の意義を伝えています。

活動内容

- 森を守り、更に生物多様性を高める取り組み
  - ・森の樹木の毎木調査を行い、樹木台帳に樹種や高さ、健康状態を記録 育成状況の把握や更新の検討を行っています。
  - ・いきものに多様な生息環境を提供するため、エリアごとに草の高さを変えるなどの工夫をしています。
  - ・枝を積み重ねたエコスタック、昆虫を呼び寄せ植生も豊かにする インセクトホテル、そして鳥の巣箱も数多く設置しています。
  - ・森の中に自動撮影カメラを6台設置、敷地内に現れる野生動物の姿を モニタリングし、活動に活かしています。
- 産学連携でビオトープの創出と運用、地域の生物多様性保全に貢献
 

地場の大学と連携し、ビオトープを工場敷地内に創出しました。工場の雨水を自然の力で浄化しながら、水辺で循環利用する仕組みを導入、大学との共同研究で地域の生物多様性を高めるための運用を進めています。学生の研究フィールドや子ども向けの環境学習、見学にお越しいただいたお客様への活動発信、更に従業員の癒しの場など多岐に活用されています。
- 専門家による生物多様性保全技術指導
 

定期的に専門家を招き、生物多様性保全に関する指導を受けています。従業員が知識や技術を習得し、社内での活動に生かしています。
- 子ども向けの環境教育イベントの開催
 

自然を身近に感じながら、生物多様性について学ぶことができるイベントを定期的に開催しています。講師を含め、従業員が企画運営するイベントです。



森の生物多様性を高める取り組み



ニホンカモシカ（敷地内で撮影）



子ども向けの環境教育イベント

PRしたいポイント

- 生物多様性保全活動：各種保全活動を従業員が企画し、自ら作業にも取り組んでいます。
- 環境教育：子ども向けの環境教育イベントを定常開催し、取り組みの意義を次世代にも伝えています。
- 産学連携：地元の大学と連携しビオトープを創出、共同研究契約を結び運用管理を行っています。

活動効果、今後の展開 等

- 地域の生物多様性保全のため、さまざまな関係者と連携しながらわくわくの森やわくわくトープの維持管理と活動の発信を今後も継続してまいります。
- 30by30達成に向けて、OECM登録を目指します。